震災を乗り越えて

前川 禎通

先端基礎研究センター長

Sadamichi Maekawa

Director General, Advanced Science Research Center

2011年3月11日に起きた東日本大震災から半年以上が経ちましたが、東 北地方ではまだ復旧が軌道に乗らない地域もあります。これらの地域の方々 には、心からお見舞い申し上げます。



幸いにも、当センターの被害は比較的少なく、現在ではほぼ正常に戻って

います。実験施設のなかには復旧にもうしばらく時間がかかるところもありますが、国内外の方々や関係機 関のご協力をいただきながら、研究のレベルとスピードを落とさないようにがんばっています。

日本原子力研究開発機構(原子力機構)では、理事長を本部長とする福島支援本部を立ち上げ、原子力機 構の人的資源と研究開発施設・設備を最大限に活用して、福島原子力発電所事故の復旧支援と環境支援を行っ ています。当センターでは、原子炉冷却汚染水の分析、土壌、汚染水等の除染に関する研究といった技術面 での取り組みに加えて、被災地域の汚染状況調査、避難民の一時帰宅支援などで、全面的に協力しています。

福島原子力発電所の事故で、原子力に対する中長期的な施策が見直されようとしています。しかし、人類 が持続的に発展し地球が住みよい場所であり続けるためにはエネルギー問題の解決とそのための科学技術の 振興が不可欠であり、それを支えるのが原子力機構の使命です。当センターは、国および原子力機構の中長 期的な方針を踏まえつつ、これらに新たな選択肢を与えることをめざし、原子力機構の将来を担う科学技術 を探る"水先案内人"として、センター全員が一丸となって努力しています。

この「基礎科学ノート」では、当センターの研究成果と活動、最先端の科学をタイムリーにできるだけわ かりやすく紹介しています。研究内容の斬新さだけでなく、それを面白くかつわかりやすく発信し、基礎研 究の推進を図ることが「基礎科学ノート」の使命だと考えています。

当センターについてより一層のご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

2011年11月